

# 令和 8 年度組織目標

所属名 総合保健専門学校 2026.4.1

【目標】 社会の変化に柔軟に対応し、地域に貢献し得る専門職業人の育成を目指します。  
学生、職員にとってより良い教育環境の提供に努めます。

No.	目標項目	達成時期・目標値・状態
1	○学生支援 国家試験 95%以上の合格率 県内就職率 90%以上の維持	達成時期：年度末 評価指標：滋賀県内の就職率の昨年度比 国家試験合格率。 ・学校評価委員会の学生・教員アンケート結果。 方 法：・国家試験対策の実施 施設紹介・職能団体の活用。 ・学生委員の活性化を図り、自律する能力を高める。
2	○学生の確保 ホームページの更新 SNS 活用の継続	達成時期：年度末 両学科ともに学生定員数の確保に努める。 評価指標：・看護学科 80 名、歯科衛生学科 38 名定員を確保する。 ・推薦入試受験者看護学科 50 名以上 歯科衛生学科 30 名以上 ・社会人入試受験者看護学科 10 名以上 歯科衛生学科 5 名以上 ・一般入試受験者看護学科 20 名以上 歯科衛生学科 10 名以上 方 法：・オープンキャンパスの開催については学生と協働する。 ・学生の提案を積極的に取り入れる。 ・SNS を適正に活用し学校の認知度をあげる。 ・ホームページからのタイムリーな情報の発信。 ・県内高校の進路説明会等への参加。学校訪問によるアピール。
3	◎学生が学びやすい 教育環境、職員が働きやすい労働環境を目指す	達成時期：年度末 評価指標：学生アンケートからの意見。(両学科授業終了時に実施するアンケート・実習終了後に実施するアンケート・意見箱投書数・健康相談利用状況数) ・図書の利用人数。実習施設、指導者の活用数。 ・実習指導者の定員数の確保と維持。在籍職員年休取得状況。 ・時間外勤務時間の推移。職員面談。 方 法：・職員全体で教育観を意見交換し、学生、学校が求める教育観の共有をする。 ・Google Classroom・意見箱等で学生の needs を把握し対応する。健康相談員との協働・図書利用者数の向上。 ・学校内の環境の不具合の修理を予算内で積極的に行う。 ・職員との定期的面談を年 2 回以上実施し、問題点の抽出。 ・職員のアイデア・提案を積極的に具現化する。 ・医療政策課との情報共有をする。 ・他校との情報交換を実施する。 ・委員会活動・各係の業務・役割を見直す。